



常陸太田市

議会だより

No. 147
平成29年2月27日

HITACHIOTA

発行 常陸太田市議会
常陸太田市金井町3690番地

●責任者 議長 益子 慎哉
●電話 0294(72)3111(代)

●編集 広報委員会
FAX 0294(73)1119



成人式実行委員会の皆さん



1月8日、パルティホールで平成29年成人式が行われ、晴れ着や袴姿に身を包んだ新成人524名が成人としての誓いを新たにしました。

■ 平成28年 第4回定例会 開催 ■

主な内容

第4回定例会・提案理由説明・	常任委員会審査	9～10
議案賛否一覧	議会トピックス	10
一般質問	議会日誌・議会運営委員会・請願	11
一般質問・議案質疑	編集後記	12

市議会ホームページ：<http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/page/page000564.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/hitachiota.shigikai>

市議会
ホームページ



市議会
フェイスブック



第4回定例会



大久保 太一 市長

提案理由説明（要旨）

第4回定例会の提出議案は、条例の一部改正6件、常陸太田市第6次総合計画基本構想及び前期基本計画1件、公の施設に係る指定管理者の指定2件、平成28年度補正予算4件、合わせて13件。一般会計補正予算は、個人番号利用に向けてのネットワーク分離によるセキュリティ対策強化に伴う経費、前年度生活保護費国庫負担金等の精算に伴う返還金、民間保育園に入所する園児の増加に伴う施設型給付費負担金、小

中学校大規模改修事業にかかわる工事請負費などの経費を追加。平成28年度一般会計は8億3680万円を追加し、総額239億8978万8000円とするものです。
なお、会期中に人事院勧告に基づく国に準じた処置等にかかわる条例の一部改正、それに付随する補正予算を国会審議の結果を踏まえて追加提案する予定です。

第4回定例会 議案賛否一覧

△全員賛成で可決した議案▽

議案名		付託委員会	議決結果
議案第97号	常陸太田市市税条例の一部改正について	総務	原案可決
議案第98号	常陸太田市手数料条例の一部改正について	産建	原案可決
議案第99号	常陸太田市国民健康保険条例の一部改正について	文民	原案可決
議案第100号	常陸太田市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	産建	原案可決
議案第101号	常陸太田市水道事業給水条例の一部改正について	産建	原案可決
議案第103号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	文民	原案可決
議案第104号	常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について	産建	原案可決
議案第105号	平成28年度常陸太田市一般会計補正予算（第4号）について	総務	原案可決
議案第106号	平成28年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	文民	原案可決

一 般 質 問

平成28年第4回市議会定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、9名の議員が登壇しました。(次のページから掲載)
 ※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。発言の詳細は3月中旬以降議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。

議案第96号	議案第102号	議案名		付託	審査	議員名														議決			
常陸太田市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	常陸太田市第6次総合計画基本構想及び前期基本計画について	総務	原案可決	委員会	結果	宇野 隆子	高木 将	黒沢 義久	後藤 守	川又 照雄	福地 正文	茅根 猛	成井小太郎	高星 勝幸	深谷 秀峰	菊池 伸也	平山 晶邦	深谷 涉	木村 郁郎	藤田 謙二	諏訪 一則	結果	
原案可決	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	結果

○・・・賛成 ×・・・反対
 ※議長を表決権・過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができる採決権が認められています。

△賛否の分かれた議案▽

議員派遣について	請願第5号	議案第116号	議案第115号	議案第114号	議案第113号	議案第112号	議案第111号	議案第110号	議案第109号	議案第108号	議案第107号
「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願	平成28年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	平成28年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	平成28年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	平成28年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	平成28年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	平成28年度常陸太田市一般会計補正予算(第5号)について	常陸太田市職員の給与に関する条例等の一部改正について	常陸太田市職員の育児休業等に関する条例及び常陸太田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	平成28年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	平成28年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	
本会	文民	本会	本会	本会	本会	本会	本会	本会	産建	文民	
原案可決	継続審査	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	



黒沢 義久
議員

問1 これまでの市政の成果・実績と次期市長選挙への考えを伺いたい。

答1 市長 市政の成果・実績としては、東日本大震災の発生により、復旧・復興を優先させながら少子高齢化・人口減少対策を重点課題として、子育て世代の経済的負担や企業誘致や立地企業の事業拡大、里美小・金砂郷中学校校舎の整備や常陸太田特別支援学校を誘致した。また、地域防災体制の整備や農業生産基盤の整

問1 市長の政治姿勢について
問2 観光のグローバル化に伴う観光行政について

備、公共交通の再編や国道349号バイパスの幸久大橋を含む4車線化工事、市債残高を約102億円減少や基金残高を約99億円増額した。

政治姿勢については自らを空しゅうして、市民の視点に立つて、行政執行を公正な判断を基準として進めてきた。第6次総合計画を今議会定例会においてご承認をいただき、その具現化に努力をしてまいりたい。次期選挙については前向きに検討を進めたい。

問2 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催等で、訪日外国人旅行者の増加が見込まれるが、本市の受け入れ体制の強化として、人材育成、観光・直売施設の多言語案内板の設置導入について伺いたい。

答2 商工観光部長 本市を訪れる外国人の多くは、中国、韓国、台湾などからの旅行者で竜神大吊橋を中心にバスツアーによる団体旅行者が増加傾向にある。今年度は、本市の観光関連施設

を中心に、受け入れ体制の強化として訪日外国人に特化したおもてなし研修を5回に分けて実施している。多言語案内については、「いばらき多言語表記ガイドライン」に基づき整備し、レジ等の接客対応にはスマートフォン多言語音声翻訳アプリ、民間通訳サービス等積極的に取り組んでまいりたい。

※「空しゅう」とは、私情を捨てて謙虚で素直な気持ちになること。



木村 郁郎
議員

問1 産業振興の核となる工業企業誘致のための具体的推進策と受け皿となる用地の確保について伺いたい。

答1 商工観光部長 立地を促すための優遇制度として、固定資産税及び都市計画税相当額を立地後3年を限度として交付する企業立地奨励金や新規雇用者を継続雇用した場合3年を限度に交付する企業等雇用奨励金、立地に伴

問1 企業誘致に向けての具体策は
問2 補助金の見直し手法は

い転入した従業員の家賃を3年を限度に助成する新規立地企業雇用者家賃助成金がある。企業誘致の受け皿となる土地については、小

中高等学校の廃校跡地や空き工場、工業団地内で既契約の未利用遊休地、民地の企業立地に適した物件の情報収集を行い、業務用地の確保を図っている。企業からの要望により私有地、民地の情報も収集しオーダーメイド方式での対応も検討していく。

問2 補助事業が適正かつ公益的に行われているか検証・評価を行い、補助金の交付目的や効果に照らして適正かどうかの点検手法について伺いたい。

答2 総務部長 補助金は、公益上必要と認めた場合に、行政目的を効果的・効率的に達成するため交付している。また、交付の目的、基準、事業の効果を明確にし、常に見直しをしている。補

助金の見直しについては、担当課において行っているが、事業によっては事務事業評価による検証がなされ、団体への運営費補助については、補助金等審議会で審査を行うなど、交付目的・成果の達成状況を検証している。財政課においても、予算編成の際に「事業費補助に関する調査」の提出を求め、ヒアリングを実施し効果検証を行っている。

【木村 郁郎 議員 質問事項】

- 人口の社会増加について
- 企業誘致について
- 補助金について
- 公用車の交通安全対策について

【黒沢 義久 議員 質問事項】

- 市長の政治姿勢について
- 観光のグローバル化に伴う観光行政について



藤田 謙二
議員

問1

地域文化の振興と創造性の育成、茨城県北地域のブランドディングと交流人口の拡大、地域の産業・経済の活性化を目的として開催された県北芸術祭の本市としての成果及び今後の展開について見解を伺いたい。

答1

政策企画部長 本市では7月の会場で作品が展示され、期間中の来場者数は約12万6千人。メディア等でも取り上げられたことで知名度も向上し、地域住民と

問1

県北芸術祭の成果及び今後の展開は
ライフスキル教育プログラムの導入・拡充を

問2

の協働による作品の創作展示等では、住民同士のふれあいも促進された。また、本市に古くからある発酵食品文化と現代アートを融合させた作品展示等により、市民の現代アートに関する意識も高まった。さらに飲食店や商店等への来

店者数が増加したことから、一時的な成果は見込まれたものと思う。今後については、瀬戸内国際芸術祭など継続実施することで様々な効果が見込まれることは認識し

答2

教育長 夏季休業中、教職員研修の一環として二日間ワークショップを実施し、各小中

問2

しているが、県及び県北他市町と連携を図りながら検討したい。自信をもたせることの大事さや自尊心を高めることの大切さが教育現場にも重要になってきている中、ライフスキル教育プログラムが注目されているが、本市の取り組み状況について伺いたい。

学校から28名が参加。学級のルー作りに関する活動や、グループ毎の模擬授業の準備や発表等に取組んだ。2学期以降は、研修で体験したことや配布された教材を活用して、校内の職員研修や授業等で実践している。今後は、学校単位での全教職員を対象にした研修を予定しており、保護者にもプログラムについて理解してもらえよう、授業参観等で公開するなど助言してまいりたい。



川又 照雄
議員

問1

道の駅ひたちおおたの開設より今日までの内容評価と今後の展開について伺いたい。

答1

農政部長 オープン時から11月末までの売上総額は、約4億600万円、レジ通過者数は、延46万5000人となり、年間目標売上額の91%、目標レジ通過者は、82%の達成率となっている。自主企画イベントも、市民や地域団体との連携により、土日祝日を中心に、延べ29回開催し、ぶ

問1

「道の駅ひたちおおた」の評価と今後の展開は
空き家調査の状況と今後の対策について

問2

どう・梨や季節野菜の即売会やお盆の切り花販売、秋の収穫祭なども行っている。農産物直売所も、市内及びJA常陸管内の近隣生産者249名が野菜や果樹、米などを販売しており、売上額における地産率は、75.6%となっている。

また、交流人口の拡大と農業担い手育成を目的としたトマトハウ

スも、年間を通じた収穫を目指すし、A棟が9月から、B棟は11月から収穫開始し、レストランや直

答2

市民生活部長 空き家調査は、ゼンリンに委託した基礎資料を基に、10月より各地区ごとに実態調査を行い、来年8月の調査完了を目的に進めている。

活用可能な物件については、所有者の意向を確認し、屋内の状況を詳しく調査する必要がある。適正な管理がなされていないもの、危険性が高い空き家においては、助言、指導等を行っていくことになる。

問2

空き家調査は来年夏ごろまでに終了するようだが、現状と今後の対策について伺いたい。

【川又 照雄 議員 質問事項】

- 「道の駅ひたちおおた」について
- 都市計画について
- 空き家対策について

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- 交流人口の拡大について
- 健康づくりへの支援について
- 魅力ある学校づくりについて



一則 議員
諏訪 議員

問1

災害時協力の井戸制度は制度化以降、どのようになっているのか現状を伺いたい。

答1

総務部長 市では登録していただいた井戸に対し、毎年、水質検査をして飲用の安全性を確保している。防災用の井戸としては、27カ所の登録があったが、所有者の転出や管理の停止、水質の悪化等により利用可能な井戸が減少し、現在、飲用可能なものは3カ所となっている。

問1

災害時協力井戸の現状と給水活動の体制について

東日本大震災時には井戸水が濁ってしまい、飲料水としての利用ができなかったこともあり、近年、全市的な登録の募集は行っていないが、今後は、井戸水の提供協力者の提供可能な水量や対応能力を勘案し、自主防災会における取組として推奨、支援していきたい。

また、災害による断水時には、衛生的な飲料水を迅速に供給することが求められているので、日頃

飲料水を、一人当たり1日何リットルを何人分給水できる体制を整えているのか伺いたい。

答2

総務部長 先の東日本大震災の際には、発災直後の断水に対し、被災した水道施設が復旧されるまでの間、市の給水車による給水活動や自衛隊、牛久市の協力により給水活動を行った。

より、自治体間で相互の応援協定を締結し、飲料水の備蓄を行っている。

飲料水の給水量については、人口の5%に相当する2600人の被災者を想定し、1人当たり1日の必要量3リットルのうち、ミネラルウォーターのペットボトルとして2リットル分を備蓄し、残り1リットル分を給水車による給水及び流通備蓄による調達で補うこととしている。



菊池 伸也 議員

問1

日本創成会議座長の増田寛也氏は、人口減少社会の実情を認識する必要があるとして消滅可能性都市を発表された。本市もその中に入っているが、現在において執行部の想いと課題を伺いたい。

答1

政策企画部長 消滅可能性都市として、本市の20歳から39歳までの女性人口が2040年には県内4番目となる、減少率が64・3%と推計された。

問1

消滅可能性都市としての現在の想いと課題は

問2

認定こども園の他の地域での進め方は

本市では、公表以前から少子化・人口減少問題に強い危機意識

を持ち、第5次総合計画後期基本計画においてストップ少子化若者定住戦略を重点戦略のトップに位置付け、様々な施策を講じている。しかし、依然として合計特殊出生率は、国県と比較して低い数値である。これまでの施策の検証をし、若い世代が住みよい環境を整備するとともに、生活基盤の整備を進め持続可能なまちづくりに取

り組んでまいりたい。

問2

現在、幼稚園の希望が減少して保育園への希望が多くなっていると聞く。場所によっては、幼稚園と保育園を、認定こども園として開設されるべきであると思うが執行部の考えを伺いたい。

答2

保健福祉部長 市の子育て支援策の効果や女性の就業機会の拡大・核家族化という社会情勢の変化等により、幼稚園児の

申し込みが減少する一方、保育園児の保育ニーズが高まっており、

市としてもさとみこども園の運営状況や成果等を検証しながら、子ども子育て支援計画や学校施設整備計画に基づき、入園者の減少している幼稚園の運営方法を見直して、教育・保育サービスの利用者の送迎の導線、さらには、既存施設の利用状況等総合的に考慮しながら「認定こども園化」の推進を図りたい。

【菊池 伸也 議員 質問事項】

- 新たな広域連携について
- 快適な暮らしづくりについて

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- 災害時協力井戸の現状と給水活動の体制について



深谷 渉
議員

問1

水府地区の小中一貫校について、今日までの説明会における地域住民の反応の分析と水府支所周辺の県道沿いに、小中一貫校を建設することについての調査結果と所見を伺いたい。

答1

教育長 児童生徒数が減少している中、学習や生活環境において「何らかの対応が必要である」との意見が半数を超えている。統合となる場合、通学環境の変化に伴う児童生徒の安全対策を講じる等課題解消が必要である。

問2

問1 児童生徒に配慮した水府地区の小中一貫校に
問2 建築行為等による狭あい道路整備の対応は

が、小学校統合や小中一貫教育の推進については、概ね合意形成が得られたと捉えている。統合校の設置場所やスケジュールについては、保護者や地域住民へ最終的な意見の調整を進めていく。

建設予定候補地については県道沿いを中心に現地調査を行ってきたが、山田小や水府小の複式学級2学級が予想される。計画の30年までに、施設一体型小中一貫教育を進める十分な校地面積の確保は困難であり、地理的歴史的な生活

文化あるいは、通学距離や通学時間の拡大に配慮し、現在の水府中学校敷地への建設が相応しいと判断している。

問2

都市計画区域内では、幅員4m以上の道路に2m以上接する敷地でなければ建築が認められないが、基準に従って後退して建築すれば認められる。

答2 **建設部長** 後退用地は土地所有者の私有地であるが、自治体によっては後退用地の買取りや公筆登記の経費補助を行っているが、本市は地域ごとの個別案件として対応をしている。統一的な制度は難しいと考えているが、後退用地は、土地所有者を含め隣接地権者の協力により一体的な土地利用ができる場合などは、まちづくりにも有効と考えられるので、他都市の事例等も参考にしながら対応方法の検討を進める。



平山 晶邦
議員

問1

本市が実施した地域公共交通網形成計画は、高齢化や少子化が進む地方においては、先進モデル事業として全国的にも高い評価を得る事業であると考えている。地域公共交通網形成計画を実施しての課題等を今後どのように対応していくのかについて伺いたい。

答1

政策企画部長 ①市民からの評判と課題については、運航便数の増加や利用者ニーズに

問1

地域公共交通網形成計画実施について

合わせた運行ルートの変更などに対して、利便性が向上したとの良好な評価をいただいている。課題としては運航便数の増加によって、常陸太田駅や市役所等の主要バス停において行き先の違う複数のバスが集中する時間がある。

②交通事業者からの課題提起については、今回の再編は、市内の全域での公共交通の再編を行う全国初の事例である現在のところ、事業者からの課題提起はないが、市

民から意見があった場合などに交通事業者等との定期的な打合せを行うことにより、課題等への対応を図っていく。

③ICカードの利用実績は11月30日現在で419件となっている。

④市民への継続的な利用促進の周知及び対応は、説明会や乗り方教室を実施するとともに、ICカードを利用した利用実績調査や市街地循環線などを利用した買い物

アーなどを実施し利用促進に努めていく。

⑤市民や事業者からの課題や問題に対応するための仕組みは、定期的に利用状況などのデータを分析し、バス利用者や事業者に対してヒアリング等を実施し、課題等の抽出を行い、法定協議会である「常陸太田市地域公共交通活性化協議会」において対応・協議し、平成29年10月に予定されている第2次再編に合わせて修正などを実施していきたい。

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 学校でのいじめ防止についてどのような対応を図っているのかについて
- 認知症対策の取り組みについて
- 普通財産の取り扱いについて
- 地域公共交通網形成計画について

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 建築行為等における狭あい道路整備について
- 地域防災計画について
- 学校教育施設について
- 芸術による地域活性化について



宇野 隆子
議員

問1 「特定健診」結果の分析と保健指導の推進を
問2 免許証自主返納を支援し生活の質の保証を

問1

「特定健診」は早期発見・治療に役立つ、誰もが受診してほしい健診である。10月に視察した兵庫県尼崎市では、健診結果と生活習慣の関連や、生活習慣の見通しを伝え、改善が必要な方には、具体的な改善方法を本人が選択できるよう支援しており、医療給付費減にも効果を上げている。今後の特定保健指導の内容について伺いたい。医師会の協力を得ながら、地域の医師との連携による結果説明と保健指導の充実を図る

保健福祉部長 第2期特定健康診査等実施計画、データヘルス計画、健康増進計画に掲げたそれぞれの目標の実現に向け、保健師等専門職が直接係わる機会の拡充することを基本に取り組みの充実強化を図りたい。

答1

医師会等と十分情報交換を重ねながら連携が取れる仕組みを考えた。

問2

高齢者による自動車事故が増えている。安心して生活できる交通環境をつくることも、高齢者の事故をなくすことは喫緊の課題となっている。本市のような広い地域では、買い物や通院など老後の生活を営む上で、日常生活に車が欠かせない。個人差はあるが身体的・精神的機能は確実に低下する。自主返納制度を有効に機能させ、高齢者の交通事故をなくしていくためには、自主返納しても生活の質を保証できる取り組み

答2

みが大車である。路線バスやタクシーなど公共交通の支援券など、市独自の支援策について伺いたい。

答2

市民生活部長 高齢者運転免許証自主返納者は、平成26年は51人、27年度は78人、28年度には98人(想定)と増えている。

答2

政策企画部長 「常陸太田市地域交通網形成計画」に基づき支援を実施する。路線バス用「ICカード」1万円分を複数年交付することを検討している。

議案質疑

(第4回定例会)

問 議案第96号 個人番号の利

用に関する条例の一部改正について関係担当課での情報管理の徹底とヒューマンエラーを避けることの徹底について伺いたい。

答 総務部長 個人番号を含む特定個人情報

の取り扱いについては、国が定めている「特定個人情報の適正な取り扱いに関するガイドライ

ン」に基づき安全管理等の必要な措置を講じるように努めている。庁内連携事務の追加に伴い、関係担当課において取り扱う特定個人情報の管理の徹底がより一層求められていることから、国の方針に基づき、特定個人情報を取り扱うパソコンに係るネットワークを分離し、外部からの不正アクセスに対するセキュリティ管理の強化などの技術的安全管理措置を進めている。また、庁内において特定個人情報制度に関する会議や研修会を行い、管理に関する担当職員の高揚や適正な取り扱いが図られるよう推進をしている。

問 議案第105号 平成28年度一般会計補正予算(第4号)の施設型給付費について民間保育園の入所における園児の増加状況やこれからの見通しについて伺いたい。

答 保険福祉部長 この施設型給

付費は「子ども・子育て支援法」に基づき、市内の民間保育園や市外の保育園等に国で定められた公定価格(基準額)に基づき支払いを行う。当初予算で算定の基礎となる対象幼児は、3歳未満が120人、3歳以上が190人で合わせて310人

を見込んでいたが、市の子育て施策の効果等により52名相当が当初見込みよりも多く申し込まれた。内訳は、44人が市内の民間保育所、残りの8名が市外の保育園等に通園するものとして見込んでいた。そのため、施設型給付費に不足額が生じるため、増額補正を行う。



【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 「子育て応援宣言の市」の宣言について
- 通学路の安全について
- 飼い主のいない猫対策について
- 就学援助制度について
- 免許証自主返納への支援について
- 特定健康診査について
- 小規模校の学校統廃合と小中一貫校について

総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正2件、計画の策定1件、補正予算1件、合計4件の審査を行い、付託された4議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第102号 常陸太田市第6次総合計画基本構想及び前期基本計画について

問 第6次総合計画(案)に対しパブリックコメントが昨年の9月から一カ月間行われたが、何人の方からどのような意見が出されたか伺いたい。

答 2人の方から意見が寄せられた。1人目は、市外の方からで、受動喫煙について意見が寄せられ、参考意見として取り扱うことを回答した。2人目は、市内の方からで、空き家・空き地や学校給食などに関する11件の意見・要望が寄せられ、これらの意見・要望については、実施計画を策定する際に反映していくと回答した。

問 第6次総合計画の実施に向けて、各部署での意識の統一や進行管理について伺いたい。

答 市では毎週月曜日に、部長級職員による行政経営会議において意識の統一を図っている。また、第6次総合計画の進行管理については、事業指標の管理を毎年度行い、見直すことになっている。今後は、策定に携わった企画課を中心に、進捗状況を管理していく。

意見 現在、市では少子化・人口減少対策の施策を行っているが、一番根本的な働く事業所がない点が挙げられる。企業誘致をどんどん押し進んでトップセールスや事業所用地の確保を合わせて行ってほしい。



協議会を開催し、第6次総合計画について執行部から聞き取りを行い、意見を交換(12月2日)

【委員会構成】

- | | |
|------------|----------|
| 委員長 高星 勝幸 | 委員 茅根 猛 |
| 副委員長 福地 正文 | 委員 深谷 秀峰 |
| 委員 後藤 守 | 委員 諏訪 一則 |

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正1件、指定管理者の指定1件、補正予算2件、請願1件、合計5件の審査を行い、付託された4議案を全会一致で原案可決すべきものと決定、請願1件を継続審査すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第103号 常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について

問 シルバー人材センターに指定をした理由を伺いたい。

答 現在、高齢者生産活動センターは、生産団体が利用し、わら工芸や漬物などの各種生産をしながら、同時に、指定管理者として管理運営を行っている状況である。

生産団体の運営と指定管理をより明確に区分するため、今回指定管理者として、シルバー人材センターを指定するものである。

議案第106号 常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問 ジェネリック医薬品の希望シールは、どのようなものを作成するの

か。また、シールの配布対象者、配布予定時期、配布方法について伺いたい。

答 シールは、保険証の余白部分に貼付けができるものを想定している。配布対象者は、国民健康保険に加入している全世帯、全被保険者で、配布時期と配布方法については、例年、3月末に被保険者証の一斉更新があることから、その際に同封する予定である。

問 一般被保険者の高額療養費の主な疾病について伺いたい。

答 高額療養費における主な疾病としては、上から順に、心疾患(大動脈弁狭窄)、循環器系疾患(急性大動脈解離)、神経系疾患(脊椎髄膜瘤)となっている。



高齢者生産活動センターにおいて、づくりやわら製品の製作等を視察(11月24日)

【委員会構成】

- | | |
|------------|----------|
| 委員長 深谷 涉 | 委員 高木 将 |
| 副委員長 藤田 謙二 | 委員 川又 照雄 |
| 委員 宇野 隆子 | 委員 益子 慎哉 |

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の一部改正3件、指定管理者の指定について1件、補正予算1件、合計5件の審査を行い、付託された5議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第104号 常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について

問 (株)水府振興公社の過去3年間の決算は赤字が続いているが、今期は黒字になるという説明を受けた。その根拠を伺いたい。

答 今年度は赤字を確実に解消するというところで、計画を立てるに基き進めている。今年度の経常利益の計画としては、約500万円の黒字を予定している。

進捗状況であるが、計画上、第1四半期はマイナス101万円の予定だが決算見込みが240万円の黒字で、計画から350万円の増額になっている。第2四半期においては計画上260万円の黒字を予定していたが、決算見込みとしては約360万円の黒字となっている。したがって上半期では、155万円の黒字を見込んでいたが、600万円



(株)水府振興公社が運営する水府物産センター

の決算見込みで、450万円計画よりも黒字幅が増額となっている。第3四半期、第4四半期についても計画通りに進んでいる状況であるので、最終的な見込みとしては、当初の500万円の黒字に対して、それを上回る黒字になる見込みで推移している。

要因としては、効率性の向上を図り、人件費では480万円、水道光熱費では200万円の削減ができていくことが挙げられる。

【委員会構成】

- 委員長 木村 郁郎
- 副委員長 菊池 伸也
- 委員 黒沢 義久
- 委員 成井小太郎
- 委員 平山 晶邦

議会トピックス

全国各地から行政視察にお越しいただきました

全国の議会では、議会活動や政策立案等に役立てるため、他自治体の先進的な取り組みを調査する行政視察が行われています。平成28年中には、14の市町議会が当市を訪れ、少子化・人口減少対策や小中学校連携教育、議会改革など特色ある施策を視察いただきました。



柏崎市議会視察の様子

月	自治体名	主な視察項目
平成28年1月	千葉県君津市	企業誘致
2月	千葉県袖ヶ浦市、石川県輪島市	少子化・人口減少対策
3月	新潟県燕市	少子化・人口減少対策
5月	兵庫県川西市	少子化・人口減少対策
7月	新潟県柏崎市、宮城県岩沼市	少子化・人口減少対策、議会中継
8月	静岡県磐田市、兵庫県赤穂市、京都府城陽市	議会報告会、議会中継、少子化・人口減少対策
10月	埼玉県宮代町、北海道当別町、山梨県山梨市	小中学校連携教育、少子化・人口減少対策、廃校有効活用
11月	沖縄県名護市	少子化・人口減少対策



議会運営委員会 10/21、11/21、12/2、12/13

第4回定例会の会期・日程等について協議

10月21日、第4回定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおおたお知らせ版」及び市施設・各支所窓口へ掲示することとした。11月21日には第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について。12月2日は一般質問通告者、請願の取り扱いについて。13日には追加議案、最終日の日程について協議を行った。



委員長	藤田 謙二	委員	茅根 猛
副委員長	菊池 伸也	//	高星 勝幸
委員	高木 将	//	深谷 渉
//	福地 正文	//	木村 郁郎

議会日誌

10月3日	総務委員会所管事務調査(宇部市・下関市)
5日	埼玉県宮代町議会視察来庁
6日	北海道当別町議会総務文教委員会視察来庁
11日	広報委員会
12日	県北市議会議長会定例会・産業建設委員会所管事務調査(美咲市・滝川市)
14日	山梨県山梨市議会教育民生委員会視察来庁
21日	議会運営委員会・全員協議会・文教民生委員会協議会・広報委員会
24日	文教民生委員会所管事務調査(尼崎市・宍粟市・丹波市)
11月9日	茨城県市議会議長会定例会
10日	議会運営委員会所管事務調査(飯田市・松本市)
24日	沖縄県名護市議会派視察来庁
12月2日	議会運営委員会・全員協議会・広報委員会
6日	文教民生委員会視察(高齢者生産活動センター・さとみこども園)
7日	本会議(一般質問)
8日	本会議(一般質問)
9日	本会議(議案質疑)・文教民生委員会協議会
12日	総務委員会・総務委員会協議会
13日	文教民生委員会
15日	産業建設委員会・産業建設委員会協議会・議会運営委員会・全員協議会

請願

件名	提出者	結果
請願第5号 「後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書」の提出を求める請願	水戸市白梅4-1-30信和総業ビル2A 茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行【紹介議員】宇野 隆子	継続審査

請願・陳情について

市民の皆さんの要望・意見を市政に反映させる方法として、請願や陳情があります。

この制度を利用して、市政に対する要望・意見を直接議会に伝えることができます。

提出方法の詳細については、議会事務局へおたずねください。

【提出の仕方】

1. 様式

請願書(陳情書)は、左記の様式を参考に作成してください。

2. 紹介議員(陳情の場合は必要ありません)

請願には、必ず1名以上の市議会議員の紹介を必要としますので、紹介議員の署名または記名押印を受けてください。

3. 提出先

請願書は、請願者本人またはその内容に詳しい代理の方が市議会(議会事務局)へ提出(一部)してください。

【書式例】

表紙

〇〇〇に関する請願

紹介議員 氏名
(署名又は記名押印)

内容

〇〇〇に関する請願

1. 請願の趣旨
2. 請願の理由

平成 年 月 日
請願者(代表)
住所 ㊟

人事紹介

12月2日に茨城北農業共済事務組合議員の補欠選挙が行われ、菊池伸也議員が当選しました。

常陸太田市議会 インターネット映像中継 検索

インターネット上で市議会本会議の中継をご覧いただけます

常陸太田市議会では、本会議映像のインターネット配信を行っています。

配信は議会の「生中継」と「録画中継」の2種類で常陸太田市議会のホームページより、ご覧いただくことができます。

録画中継は、会議終了日から概ね1週間まで視聴可能になり、24時間いつでもご覧いただくことができます。



議会を傍聴しませんか!!



傍聴される方は、市役所4階市議会議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください。

3月定例会会期日程（予定）

3月2日（木）	午前10時	開会・議案説明	3月10日（金）	午後1時	文教民生委員会
6日（月）	午前10時	一般質問	13日（月）	午後1時	産業建設委員会
7日（火）	午前10時	一般質問	14日（火）	午前10時	予算特別委員会
8日（水）	午前10時	議案質疑	15日（水）	午前10時	予算特別委員会
9日（木）	午後1時	総務委員会	17日（金）	午前10時	採決・閉会



編集後記

議会だより第147号では第4回定例会の主な内容を掲載いたしました。議会だよりを通して議会の内容を分かりやすくお伝えし、議会に対する理解と関心を深めていただくため、編集委員一同努力してまいりましたので、なお一層のご支援をお願いいたします。

発行責任者

議長 益子 慎哉

広報委員会

委員長 成井 小太郎

副委員長 福地 正文

委員 高星 勝幸

委員 菊池 伸也

委員 深谷 郁郎

委員 木村 謙二

委員 藤田 謙二

茨城県市議会議長会から感謝状



深谷秀峰 前議長

謝状が贈呈されました。

10月28日に開催された茨城県市議会議長会定例会において、深谷秀峰前議長が茨城県市議会議長会副会長として会務を運営し、また、市議会議長として、地方自治の発展と市政の向上に貢献されたことにより、感謝状が贈呈されました。

議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。今後の本紙編集の参考とさせていただきます。

議会事務局 電話 0294 (72) 3111 Email gikajimu2@city.hitachiota.lg.jp

議会事務局
メールアドレス

